サポート情報記事

List Filter Online のインストールとページへの追加方法

2026 © Vitextra SIA. All rights reserved.

免責事項

本免責事項の適用上、次のとおり定義します。

- **会社** (本免責事項では「当社」と表記します) とは、Vitextra SIA (Matīsa iela 61-25, Rīga, LV-1009, Latvia) を指します。
- **本ドキュメント**とは、ナレッジベースの記事を指します。
- **お客様**とは、本ドキュメントにアクセスする個人、または該当する場合は、その個人が本ドキュメントにアクセスまたは使用する際に代理となっている会社その他の法人を指します。
- **本 Web サイト**とは、https://vitextra.com からアクセスできる Vitextra を指します。

免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、一般的な情報提供のみを目的としています。

当社は、本ドキュメントの内容における誤りや脱漏について、一切責任を負いません。

いかなる場合も、契約上の訴訟、過失、その他の不法行為上の訴訟であるかを問わず、本ドキュメントの内容の使用に起因または関連して生じる、特別損害、直接損害、間接損害、結果的損害、付随的損害、またはその他一切の損害について、当社は責任を負いません。当社は、事前の通知なく、いつでも本ドキュメントの内容に追加、削除、または変更を行う権利を留保します。

誤りおよび脱漏に関する免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、関心のある事項に関する一般的な指針を示すことのみを目的としています。そのため、本ドキュメントの内容を最新かつ正確に保つために当社があらゆる予防措置を講じている場合でも、誤りが生じる可能性があります。また、法律、規則、規制は変化するため、本ドキュメントに記載されている情報に遅れ、脱漏、または不正確な点が含まれる場合があります。

当社は、誤りや脱漏、またはこの情報の使用によって得られた結果について、責任を負いません。

フェアユースに関する免責事項

当社は、著作権者から明示的な許可を得ていない著作物を使用する場合があります。当社は、批評、論評、ニュース報道、教育、学術研究、または調査の目的で、そのような資料を提供しています。

当社は、これが、米国著作権法第 107 条に規定されている、当該著作物の「フェアユース」にあたると考えています。

お客様が、フェアユースの範囲を超えて、ご自身の目的で本ドキュメントの著作物を使用することを希望される場合は、著作権者から許可を得る必要があります。

「自己責任での使用」に関する免責事項

本ドキュメントのすべての情報は、完全性、正確性、適時性、またはこの情報の使用によって得られる結果について何ら保証することなく、また、性能、商品性、特定目的への適合性に関する保証を含むがこれらに限定されない、明示または黙示を問わずいかなる種類の保証もなく、「現状のまま」提供されます。

当社は、本ドキュメントに記載されている情報に依拠して行われた判断や措置、または結果的損害、特別損害、もしくはこれらに類する損害について、たとえそのような損害の可能性について知らされていた場合でも、お客様またはその他の者に対して責任を負いません。

お問い合わせ

本免責事項についてご不明な点がある場合は、メール (support@vitextra.com) でお問い合わせください。

目次

はじめに 4

前提条件 4

手順 **1.** パッケージをアプリ カタログにアップロードする 4

手順 **2. Web** パーツをページに追加する 5

構成チェックリスト 6

最小限の構成 7

発行と確認 8

新しいバージョンへの更新 9

まとめ 9

期限 10

はじめに

List Filter Online は、1 つの**SharePoint Framework**パッケージとして提供されます。インストールは 2 つの手順で行い、通常は 2 人の担当者が分担します。SharePoint 管理者がテナントの**アプリ カタログ**にパッケージをアップロードし、サイト所有者が Web パーツをページに追加してリストまたはライブラリを指定します。この記事では、ダウンロードした ZIP ファイルからページの発行までの両方の手順を順を追って説明し、新しいバージョンがリリースされたときに Web パーツを更新する方法も説明します。

前提条件

開始する前に、次の点を確認してください。

- テナントにアプリ カタログがあること。ない場合は、SharePoint 管理者が SharePoint 管理センターの **More features** (その他の機能) > **Apps** (アプリ) で作成します。
- パッケージをアップロードするために、SharePoint 管理者であるか、アプリ カタログの所有者グループのメンバーであること。
- Web パーツを追加して構成するために、サイトの所有者であるか、ページの編集アクセス許可を持っていること。
- ダウンロードしたパッケージがあること。
  `Vitextra.ListFilterOnline.<year>Q<quarter>.zip` という名前の ZIP ファイル (例: `Vitextra.ListFilterOnline.2026Q4.zip`) で、ソリューション ファイル `vitextra.list-filter.sppkg` が含まれています。アップロードする前に `.sppkg` ファイルを展開してください。

> メモ
>
> List Filter Online は、SharePoint 組み込みの**REST API**を使用してデータを読み取り、追加の API アクセス許可を要求しません。SharePoint 管理センターの **API access** ページで承認する項目はありません。

手順 1. パッケージをアプリ カタログにアップロードする

1 テナントのアプリ カタログ サイトを開き、**Apps for SharePoint** に移動します。
2 `vitextra.list-filter.sppkg` をアップロードするか、リストにドラッグし

ます。

3 表示されたダイアログで **Enable this app and add it to all sites** (このアプリを有効にして、すべてのサイトに追加する) を選択し、**Enable app** (アプリを有効にする) で確定します。パッケージはテナント全体への展開用に作成されているため、この手順の後は、Web パーツはテナントのすべてのサイトで使用でき、**Add an app** (アプリの追加) でサイトに追加する必要はありません。

アプリ カタログと展開ダイアログのスクリーンショット付きの一般的な手順は、KB10035. クラウドベースの製品のインストールで説明しています。

メモ

同じパッケージは、リストおよびライブラリのコマンド バー用の **Open in List Filter** コマンドも登録します。このコマンドは、管理者がテナント全体の拡張機能で構成し、開くページを設定するまで、すべてのリストで非表示のままです。構成しない場合、リストには何も変更されません。セットアップについては、KB10254. SharePoint 標準のリストから選択した項目を List Filter Online で開くで説明しています。

手順 2. Web パーツをページに追加する

1 リストを表示するモダン ページを開き、右上の **Edit** (編集) をクリックします。新しいページが必要な場合は、サイトの **New** (新規) > **Page** (ページ) から作成します。

2 セクション内で Web パーツを配置する場所にポインターを合わせ、**+** (プラス) ボタンをクリックします。

3 ツールボックスの検索ボックスに *List Filter* と入力するか、**Documents, lists, and libraries** (ドキュメント、リスト、ライブラリ) グループまでスクロールして、**List Filter** を選択します。

Web パーツがページに追加され、次の手順で説明する構成チェックリストがすぐに表示されます。



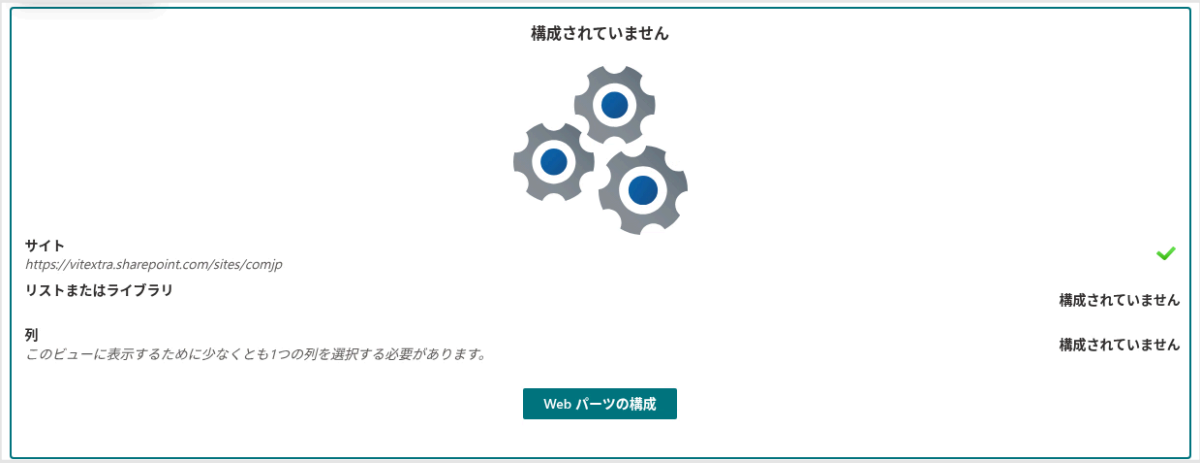
ページのツールボックスにある List Filter Web パーツ

構成チェックリスト

データ ソースが完成するまで、Web パーツには **Not Configured** (未構成) という見出しと 3 つの行を持つチェックリストが表示されます。各行には、チェック マークまたは **Not Configured** のいずれかが付いています。

1. **Site** (サイト) – リストを含むサイトです。既定では現在のサイトがすでに選択されているため、通常この行はすぐに完了します。
2. **List or Library** (リストまたはライブラリ) – 表示する、リストまたはドキュメント ライブラリです。
3. **Columns** (列) – テーブルに表示する列です。少なくとも 1 つの列を選択するまで、この行には *You must select at least one column to display for this view.* というメッセージが表示されます。

編集モードでは、チェックリストの末尾に **Configure Web Part** (Web パーツの構成) ボタンがあり、Web パーツのプロパティ ペインが開きます。Web パーツの鉛筆アイコンでも同じペインが開きます。



Web パーツの構成チェックリスト

最小限の構成

必須の 3 つのパラメーターはすべて、プロパティ ペインの最初のグループである **Data Source** (データ ソース) グループにあります。

1 **Scope** (スコープ): ページが属するサイトのリストを表示するには、**Current Site** (現在のサイト) のままにします。テナント内の別のサイトのリストを表示するには、**Other Site** (別のサイト) を選択します。下に **Site URL** ピッカーが表示されるので、サイトの名前または URL を入力し、候補から選択します。選択したサイトは、ロゴ、タイトル、URL とともに表示されます。

2 **List** (リスト): ドロップダウンからリストまたはライブラリを選択します。ドロップダウンには、選択したサイトのリストとライブラリが一覧表示されます。

3 **Columns** (列): **Select Columns** (列の選択) をクリックします。**Columns** パネルで、テーブルの **Display** (表示) 列にある、表示する列をオンにして、**Save** (保存) をクリックします。この時点で、列の **Caption** (キャプション) と **Order** (順序) を変更することもできます。その他のオプションについては、KB10258. List Filter Online での列の構成: 見出し、形式、表示オプションで説明しています。

3 つ目のパラメーターが設定されるとすぐに、チェックリストが消え、Web パーツにリストの最初の項目が表示されます。



プロパティ ペインの Data Source グループ

警告

サイトまたはリストを変更すると、依存する設定がリセットされます。選択した列、フィルター　パネルの列、定義済みフィルターは、以前のリストに属しているため、クリアされます。先にデータ　ソースを選択し、その後で残りを構成してください。

発行と確認

Republish (再発行) (新しいページの場合は **Publish** (発行)) をクリックします。ユーザーと同じようにページを開き、次の点を確認します。

- テーブルに、想定どおりの列と項目が表示されている。
- ユーザーには、アクセス権のある項目のみが表示される。Web　パーツは現在のユーザーの権限でリストを読み取るため、リストのアクセス許可がそのまま適用されます。
- 必要に応じて、フィルター パネルとコマンド ツール バーが表示されている。どちらも既定で有効になっており、**Filter pane** (フィルター　パネル) グループと **Command toolbar** (コマンド ツール バー) グループでオフにできます。

ヒント

Web パーツをページの唯一のコンテンツにすることもできます。**Apps** (アプリ) テンプレート (単一パーツのアプリ ページ) からページを作成し、**List Filter** を選択します。このようなページは、Microsoft Teams のチャネルのタブとして便利です。

新しいバージョンへの更新

List Filter Online の新しいリリースは、最初のインストールと同じ方法でインストールします。新しい `vitextra.list-filter.sppkg` を **Apps for SharePoint** にアップロードし、既存のファイルを置き換えることを確認して、もう一度 **Enable this app and add it to all sites** を選択します。パッケージはテナント全体に展開されるため、Web パーツがあるすべてのページで次回の読み込み時に新しいバージョンが使用されます。再構成は必要なく、既存の Web パーツの設定は保持されます。ページで実行されているバージョンよりも新しいバージョンがある場合、Web パーツはページの編集者に *There is a new version of this app. Get it now.* というメッセージを表示します。

まとめ

List Filter Online のインストールとは、テナント全体への展開を指定して 1 つの `.sppkg` ファイルをアプリ カタログにアップロードし、**List Filter** Web パーツをページに追加して、3 つの必須パラメーター (**Site**、**List or Library**、**Columns**) を設定することです。その後は、Web パーツがページのすべてのユーザーに対して、それぞれの権限で動作します。

ヒント

プロパティ ペインのすべての設定 (フォルダー、項目数の上限、並べ替え、グループ化、集計、定義済みフィルター、フィルター パネル) については、KB10201. List Filter Online Web パーツの構成で説明しています。このページを使用するユーザー向けの情報は、KB10252. List Filter Online: エンド ユーザー向けクイック ガイドを参照してください。

期限

REST API

REST API (Representational State Transfer Application Programming Interface) は、ソフトウェア アプリケーションがインターネット経由で通信するための標準化された方法です。クライアントは、GET、POST、PUT、DELETE などの標準的な HTTP メソッドを使用して、サーバー上のデータを要求したり操作したりできます。REST API は、スケーラブルで柔軟性が高く、さまざまなクライアント アプリケーションからアクセスできる Web サービスの構築に広く使用されています。

SharePoint Framework (SPFx)

SharePoint Framework (SPFx) は、SharePoint Online、SharePoint Server (オンプレミス)、Microsoft Teams 向けのクライアント側 Web パーツ、コンポーネント、拡張機能を構築するためのモデルです。SPFx のカスタマイズは JavaScript に基づいており、モダン ユーザー インターフェースをネイティブでサポートします。

アプリ カタログ

アプリ カタログは、SharePoint、Teams、その他の Microsoft 365 サービス向けのアプリを格納する特別な SharePoint サイトです。グローバル管理者または SharePoint 管理者は、AppSource マーケットプレース、カスタム開発アプリ、サード パーティ製アプリのアプリケーションを、組織の内部使用のためにアップロードして管理できます。テナントには、テナント レベルのアプリ カタログを 1 つだけ作成できます。個々のサイト コレクションには、サイト コレクション アプリ カタログを追加できます。

ドキュメント ライブラリ

ファイル、フォルダー、およびそれらに関する情報を格納する、特別な種類のリストです。リストと同様に、ドキュメント ライブラリには、個人用ビューや共有ビュー、アイテム レベルのアクセス許可などを含めることができます。